３ 青少年の健全育成

１ 青少年の健全育成

〈目標〉

青少年健全育成のネットワークを強化するとともに地域教育コミュニティの形成を図り、学校・家庭・地域が連携し、青少年の健全育成に取り組む。

〈取り組みの方向〉

学校・家庭・地域が連携し、青少年の健全育成活動を推進しているが、青少年の主体的な活動を促進し、地域ボランティア活動など地域との交流を図る。

〈平成 21 年度の主な取り組み〉

⑴地域ぐるみの育成活動

・青少年指導員会活動を支援するとともに、青少年育成啓発事業等を実施し、青少年の健全育成を進める。

・子どもの安全見守り活動、地域教育協議会(18)活動や学校支援地域本部事業(19)の支援及び放課後子どもプランに基づく活動の支援を行い、地域教育コミュニティ(20)の向上を図り、青少年の健全育成を進める。また学校支援地域本部事業の取り組みを地域に定着・発展させるため地域住民の活動拠点の整備を行なう。

⑵青少年活動の促進

・青少年リーダーを養成するため、寝屋川リーダーズセミナーを開催し、小学生高学年と中高生の受講者に対し、体系的なリーダー養成を目指す。

・「自分たちのイベントは自分たちで」の目標をかかげ、より多くの新成人の参画のもと実行委員会組織を強化し、成人式を実施する。

⑶家庭教育の推進

・『家庭教育推進指針』に基づき、元気子育てフォーラムの開催や家庭教育サポートチームの派遣等により、家庭教育力の向上を図る。

⑷留守家庭児童会事業

・保護者の就労等により、放課後の保護育成が必要な低学年児童の健全育成を図る。

〈平成21年度の取組実績〉

⑴地域ぐるみの育成活動

①青少年健全育成活動

青少年の健やかな成長を願い、地域の青少年健全育成を図るため、青少年指導員会と連携し、中学生の主張、子どもを守る市民集会、青少年育成促進事業の推進を図った。

【参加者数】

	H19年度	H20年度	H21年度
中学生の主張応募者数	2,767人	2,861人	2,752人
子どもを守る市民集会参加者数	856人	910人	883人
青少年育成促進事業参加者数	3,186人	2,973人	2,374人

②地域教育コミュニティ

地域教育コミュニティの向上をめざし、その母体となる地域教育協議会を全中学校区に設置し、家庭・学校・地域が協働して様々な活動を行うとともに、学校支援地域本部事業を推進するため、研修会等を実施し、学校支援ボランティア活動の活性化を図った。また、地域による学校支援緊急対策事業を活用し、８中学校区にて、学校支援地域本部の拠点を整備した。

放課後子ども教室(21)推進事業においては、放課後や週末に子どもの安全で安心な居場所を確保し、地域の世代間交流・異年齢交流の推進に努

めた。また昨年度よりまなび舎事業・まなび舎キッズ(22)を始め、子どもの学力向上と学習習慣の定着を図ることを目的として、宿題や国語・算数の教科学習支援を実施した。

【参加者数】

		H19 年度	H20 年度	H21 年度
放課後子ども教室参加者数	子ども	66,118 人	90,259 人	88,932 人
	大人	15,217 人	17,396 人	17,148 人
計		81,335 人	107,655 人	106,080 人
地域教育協議会（12 中学校区）		30,351 人	33,711 人	36,342 人
学校支援地域本部事業ボランティア活動人数		—	33,439 人	95,244 人

③安心安全体制の充実

地域における子どもの安心安全体制を充実するために、警察 OB（スクールガード・リーダー）による指導を受けながら、地域パトロールカーや見守り隊活動を行うとともに、地域による防犯意識啓発のために子ども 110 番の家の旗・ステッカーを住居、企業、公共の乗り物等へ掲出の呼びかけをした。また、第四中学校区において地域安全マップづくりを実施した。

【参加者数】

		H19 年度	H20 年度	H21 年度
見守り隊参加者数		4,501 人	4,744 人	4,860 人
地域パトロールカー	稼動日数	2,430 日	2,483 日	2,326 日
	走行距離	28,825km	30,958km	28,471km

⑵青少年活動の促進

① 寝屋川リーダーズセミナー小学生クラブ・中高生クラブを開催し、キャンプ等を通して仲間づくりをはじめ自主性、協調性を養うことにより青少年活動の核となる青少年リーダーの養成を図った。

【参加者数】

	H19 年度	H20 年度	H21 年度
寝屋川リーダーズセミナー小学生クラブ(23)	808 人	290 人	485 人
寝屋川リーダーズセミナー中高生クラブ(24)	137 人	108 人	163 人

②自らで創り上げることをテーマに一般公募による成人式実行委員会を組織し「自分たちの成人式」を企画し、運営進行を行うとともに成人としての自覚を促し、新たな一歩を踏み出すために成人式を挙行した。

【成人式参加者数】

	H19 年度	H20 年度	H21 年度
対象者数	2,382 人	2,347 人	2,318 人
参加者数	1,583 人	1,456 人	1,412 人
参加率	66.5 ％	62.0 ％	60.9 ％

⑶家庭教育の推進

①子育て中の保護者が、多くの人々との交わりの中で、親として育ち、共に考え、学びあうために元気子育てフォーラムを開催し、家庭教育に関する啓発活動に努めた。

②家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育推進に向けた啓発と学習の機会の充実に取り組んだ。

③いじめや不登校、非行等の課題を抱え、子育てやしつけに悩みや不安を抱く家庭に対して、家庭教育サポートチームによる相談や家庭訪問を実施した。

【各事業等参加者数】

	H19 年度	H20 年度	H21 年度
元気子育てフォーラム	1,279 人	1,038 人	1,067 人
家庭教育学級	442 人	409 人	521 人

⑷留守家庭児童会事業

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童の放課後及び学校の休業日の生活拠点として、異年齢集団の活動を通して、心身の健全な発達を促すことを目的に開設している。なお、特に児童数が多い中央小学校、第五小学校の各児童会については、より健全な育成を行なうため教室改修及びプレハブ建設を行ない、平成 22 年度からクラブを分割し運営する。

【入会児童数】（各年度５月１日現在）

	H19 年度	H20 年度	H21 年度
児童数（1～3年生）	6,980 人	6,800 人	6,402 人
入　会　児　童　数	1,418 人	1,495 人	1,487 人

〈点検・評価〉

⑴ **地域ぐるみの育成活動**については、青少年指導員会と連携し、様々な事業に取り組むことにより、地域の青少年健全育成が図れた。

- 放課後子ども教室など、地域ぐるみの育成活動を通して、子どもたちの安全で安心な居場所を確保することができた。
- ８中学校区で地域住民の活動拠点の備品の整備等を行うことにより、学校支援地域本部事業の活性化を図ることができた。
- 地域における子どもの安心安全体制を図るため、地域パトロールカーや見守り隊を活用するとともに、スクールガード・リーダーによる具体的な指導により、効果を生むことができた。また、第四中学校区において、地域安全マップを作成するとともに、子どもを守る市民集会で取り組みの報告をすることにより、安心安全体制の充実を図ることができた。

⑵ **青少年活動の促進**については、青少年リーダーの養成を図るとともに、成人式では、新成人による実行委員会形式で成人式を開催し、前途を祝すとともに、大人としての社会における自覚を促し、市民意識を培うことができた。

⑶ **家庭教育の推進**については、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する相談や学習の機会及び情報の提供など家庭教育を支援するため、元気子育てフォーラムや家庭教育学級の開催、家庭教育サポートチームの派遣を通じ家庭教育に対する支援体制の充実が図れた。

⑷ **留守家庭児童会事業**については、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成に努めることができた。また平成22年度から、中央小学校・第五小学校のクラブ分割を行うことで、環境整備が図れた。

２　教育センターの充実

〈目標〉

青少年に対して、様々な学習と活動の場を提供するなど自主的活動を支援し、青少年の健全育成を図る。

〈取り組みの方向〉

生きる力と豊かな感性を育む場所として各種事業を展開するとともに、青少年の自主的な活動を支援し、幼児から青少年までが気軽に利用できる拠点として、効果的・効率的な施設の管理運営を行う。

〈平成 21 年度の主な取り組み〉

⑴青少年の居場所づくりへの支援

・ふれあい、仲間づくりのできる青少年の居場所としてセンター事業をさらに充実させるとともに、青少年の利用者と地域の方々との交流を図る。

⑵教育センター事業の充実

・センター事業を魅力的な事業内容に発展させていくため、各種講座等の充実を図る。

⑶教育センターの効果的・効率的な管理運営

・指定管理者制度導入による民間活力の活用によって、教育センターのより効果的・効率的な管理運営を行う。

〈平成 21 年度の取組実績〉

⑴青少年の居場所づくりへの支援

① 子どもたちの放課後や長期休業中における様々な遊びや活動を通じて社会性や協調性を養い、自学・自習の生活習慣作りを支援するわくわくガリバーハウス事業の充実を図るとともに、ガリバーハウスの登録者が地域におけるまつり等に参加し、地域の方々との交流を図った。

②放課後等における中学生などの居場所の一つとして、図書・自習室を開放した。

⑵教育センター事業の充実

① 「自信を持って何事にも取り組み、国際社会に貢献できる人間作り」を目標として、小学生を対象としたワンコイン講座(英語リスニング講座、絵本づくり講座ほか)、課題教室や算数教室を新規事業として実施した。

② 世代間交流を図るため、伝統食教室や伝承あそび等を新規事業として実施した。

③ 年代を考慮し、時代の流れに沿った図書や絵本などを設置した。

【利用状況】

	子ども ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	講　座	行事・ｲﾍﾞﾝﾄ	青年・図書	貸し館等	計
H19年度	16,727人	10,240人	1,435人	257人	7,352人	36,011人
H20年度	17,651人	9,239人	1,570人	360人	9,108人	37,928人
H21年度	24,774人	12,040人	2,139人	2,514人	20,982人	62,449人

【てるかフェスタ参加者数】

H19年度	H20年度	H21年度
1,140人	920人	1,157人

⑶教育センターの効果的・効率的な管理運営

平成21年４月１日から指定管理者制度を導入し、施設の利用促進を図るため、各種新規事業の実施や「教育センター杯バスケットボール大会」を開催した。また、ホームページや教育センターだよりなど広報活動の充実に努めた。

〈点検・評価〉

⑴ **青少年の居場所づくりへの支援**については、青少年の放課後等の居場所を提供するとともに、地域のまつり等に参加し地域の方々と交流することにより、地域における青少年の居場所づくりを図った。

⑵ **教育センター事業の充実**については、各種新規事業を実施するなど内容の充実を図り、利用者数が増加した。また、アンケート結果においても良い評価が得られた。

⑶ **教育センターの効果的・効率的な管理運営**については、平成21年４月１日から指定管理者制度を導入し、自主事業の実施やホームページ・広報活動の活性化等により利用者も増加している。

３　エスポアールの充実

〈目標〉

幼児から高齢者までの世代間の交流を推進し、人と人のふれあいを深めるとともに、市民の自主学習・自主活動の場の提供や団体の育成を行う。

〈取り組みの方向〉

エスポアールの効果的・効率的な管理運営を進め、青少年成人センター及び児童センターの機能の充実を図る必要がある。また、地域全体で子育て支援や児童の健全育成を推進するため、支援サークルを育成するとともに、地域の人材を積極的に活用する。

〈平成 21 年度の主な取り組み〉

⑴子育て支援と青少年の健全育成

・青少年健全育成事業の更なる充実を図るため、世代間の交流や地域ぐるみの子育て支援の取組等の推進及び各種新規事業を実施する。

⑵エスポアールの効果的・効率的な管理運営

・指定管理者制度導入による民間活力の活用によって、エスポアールのより効果的・効率的な管理運営を行う。

〈平成 21 年度の取組実績〉

⑴子育て支援と青少年の健全育成

①子育て相談や子育て講演会など、子育て支援のための各種事業を実施するとともに、にこにこランドや体操広場など、親子のふれあいを深める機会を提供した。

②地域の高齢者などの協力を得て、囲碁将棋・伝承遊びや季節行事のお月見や豆まきなど、世代間交流を実施した。

【エスポアールの利用状況】

事業名	青少年 成人事業	児童健全 育成事業	親子ふれ あい事業	世代間 交流事業	子育て 支援事業	貸し館等	計
H19 年度	10,114 人	7,508 人	7,395 人	776 人	2,102 人	131,851 人	159,746 人
H20 年度	9,012 人	7,219 人	5,191 人	1,020 人	1,679 人	136,923 人	161,044 人
H21 年度	8,866 人	39,630 人	4,401 人	1,415 人	1,310 人	107,645 人	163,267 人

【フェットエスポアール参加者数】

H19 年度	H20 年度	H21 年度
9,823 人	8,843 人	新型インフルエンザ により中止

⑵エスポアールの効果的・効率的な管理運営

市民サービスの向上を図るため、平成 21 年４月１日から指定管理者制度を導入し、小学生を対象としたワンコイン講座（宿題教室や算数講座ほか）など新規事業の実施やホームページ・エスポだよりの充実を図った。また生涯学習推進に関する研修に積極的に参加するなど、職員の資質向上に努めた。

〈点検・評価〉

⑴ **子育て支援と青少年の健全育成**については、元気っこランドや講座等の各種新規事業を実施し、大幅に利用者数が増加した。また、世代間交流事業では囲碁将棋や七夕コンサート・伝承遊び等を地域の高齢者の協力で充実を図ることができた。

⑵ **エスポアールの効果的・効率的な管理運営**については、より効果的・効率的に事業を推進するため、平成 21 年４月１日から指定管理者制度を導入し、継続事業の充実や各種新規事業を実施し、参加者も増加した。また、アンケート結果においても良い評価が得られた。